

令和5年度2月例会報告

- 日時 令和5年2月22日（水）
- テーマ 青葉の森公園の梅園と千葉の神社仏閣巡り
- 集合場所 京成稲毛駅
- 集合時間 9時00分
- 参加者 34名
- 解散 15時50分（千葉みなと駅）
- 距離 19キロ
- 案内役 リーダー：長部 強、サブリーダー：鈴木 正一、榊原 慶子
- コース 京成稲毛駅⇒稲毛浅間神社⇒旧神谷伝兵衛別荘⇒千葉公園⇒ 千葉妙見宮⇒猪鼻城⇒ ★青葉の森公園⇒県立羽衣公園（休憩） ⇒千葉ポートタワー⇒千葉都市モノレール千葉みなと駅

満開の梅を見ることはできるか？

佐倉歩こう会のモットーは、「季節の移ろいを感じ、自然に親しみ、楽しくおしゃべりしながらのウォーキング」です。2月例会のメインテーマは「梅の鑑賞」。

ただし、例会は月末の水曜日と決まっており、満開の梅を見ることができるかどうかは、その年の天候状況に左右されます。

4年前の例会は、横芝の「天空の梅まつり」でしたが、寒風吹きすさぶ一日で、しかも梅はほとんど蕾状態でがっかりしたこともありました。

さて、今年は満開の梅に出会うことはできるのでしょうか？

当日は、初顔の方も含め34名の皆さんが参加してくれました。

案内役リーダーは長部さん、サブリーダーは鈴木（正）さんと榊原さんです。

一日、よろしくお祈りします！



コース説明をする長部リーダー

電気ブランってどんな味？

朝礼は京成稲毛駅から歩いて5分ほどの所にある稲毛浅間神社内で実施しました。稲毛浅間神社は、平安初期の808年創建の神社で、この後、訪れる亥鼻城城主千葉常胤以来、代々千葉氏の信仰が篤かった神社として知られています。長部リーダーのコース説明、準備体操の後、りっぱな本殿で一日の安全を祈願し、いざ出発。当日は風もなく、歩くには最高のウォーキング日和です。

しばらくは、交通量の多い国道14号線沿いを千葉方面に向かって歩きます。そして見てきたのが、「旧神谷傳兵衛稲毛別荘」。神谷傳兵衛は、日本の「ワイン王」と言われ、その別荘として大正7年に建てられた建物が保存され、無料公開されています。今回は時間の関係で内部の見学はしませんでした。頼めば親切なガイドさんが中を案内してくれます。神谷傳兵衛と言えば、浅草の「神谷バー(明治13年創業の日本初のバー)」や「電気ブラン」が有名ですが、明治36年、茨城県牛久に日本初のワイン醸造場を開設したことで知られています。現在は、「牛久シャトー」として、当時の建物を活かした記念館を展開していますが、現地まで見学に行ったサブリーダーの鈴木さんが、その歴史や電気ブランの飲み方などを解説してくれました。ちなみに、電気ブランはブランデーがベースとなったカクテル風アルコールで、ほんのりとした甘みが特徴のリキュールです。



神谷傳兵衛について説明する鈴木さん

千葉常胤は佐藤浩市がいい・・・

千葉公園から妙見本宮(千葉神社)を経て、亥鼻城(千葉城)に到着しました。この城は、千葉氏の中でも最も有名な千葉常胤(つねたね)の居城でした。常胤といえば、源頼朝が伊豆の拳兵に失敗し、安房に脱出した際に頼朝を助け、鎌倉幕府樹立に貢献した人物で、天守閣の前には馬にまたがり鎗矢を放つ勇壮な銅像が建てられました。

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では、岡本信人さんが常胤を演じていましたが、残念ながらやや迫力不足。頼朝に暗殺される上総の領主、佐藤浩市さん演ずる上総広常の方が目立って

いたし、かっこよかった。怪演と評判の高かった佐藤浩市さんに常胤を演じてほしかったと思うのは、私だけだろうか？

ちなみにこの城、平山城だったことがわかっており、観光目的とは言え、こんなにっばな天守閣を造っちゃうところが、さすがお金持ちの千葉市ですね。

佐倉市はあるイベントの際、「巨大佐倉城あらわる！！」との企画を打ち出したことがありました。期待して佐倉城址公園まで見に行ったら、子供が遊ぶ巨大バルーンの佐倉城でした。もう少しりっばな佐倉城が見たかった。



亥鼻城（千葉城）前にて

梅の花言葉は・・・

亥鼻城を出発し、1.6キロ。昼食会場でもある青葉の森公園に到着しました。この公園、農林水産省畜産試験場の跡地を利用して建設されたもので、なんと広さが53.7ヘクタール、東京ディズニーランドとほぼ同じ広さだそうです。いろいろな見所がある公園ですが、この季節は35品種1,000本の梅が咲き誇る梅園が最高！！

そして嬉しいことに、願いがかない、ほぼ満開の梅が私たちを迎えてくれました。

紅梅と白梅が植えられていますが、この時期、紅と白のコントラストが見事に調和され、私たちを楽しませてくれます。早咲きの梅は、1月下旬から咲き始めますが、冬の寒さに耐えて咲く梅の花には可憐さと力強さがあります。

爽やかに匂いたつ梅の香りは私たちに春の訪れを感じさせてくれます。

本日は、この梅園の中で昼食休憩です。皆さん、存分に満開の梅を楽しんでもらえたと思います。

ところで、梅の花言葉ってご存じですか？

「上品」、「高潔」、「忍耐」、「忠実」だそうです。それぞれに含蓄を含んだ花言葉ですね。常に品よく気高く、どんな困難も耐え忍び、凜として生きていきたいものです。

今からでも遅くない！ そんな生き方を目指そう！！ と、梅を見ながら誓いました。



ポートタワーでの小さな感動

昼食が終わると、本日の最終目的地である「千葉ポートタワー」に向かいます。途中、京成千葉寺駅、イオンスタイル千葉みなと店を經由してポートタワーを目指しましたが、平坦なコンクリート舗装の歩道が意外と足にこたえ、厳しい歩行 となりました（私だけ？）。

しかし、やっとの思いで辿り着いたポートタワーでは、感動の眺望が・・・。

千葉ポートタワーは、千葉港のシンボルとして昭和61年にオープンした高さ125メートルを誇る展望施設です。入館料は420円ですが、65歳以上の千葉県民は無料なのうれしい。

さっそく、地上113メートルにある展望フロアまでエレベーターで直行。

待っていたのは、360度の大パノラマ。千葉港を中心とした京浜工業地帯から房総半島を一望でき、見晴らしが良ければ東京タワーや富士山を見ることができます。

本日も、おぼろげではありますが、富士山や東京タワー、筑波山の陰影が見えたような気

(?)がしました。

ただ、個人的な小さな感動は、はるか彼方にわが街ユーカリが丘の高層マンションを発見したことでした（これは意外とはっきり見えました！！）。

千葉ポートタワーの眺望にすっかり満足し、帰りは解散地点である千葉みなと駅を通り過ぎ、京成千葉駅まで歩いた方がほとんどでした。

本日は15.8キロの予定でしたが、19キロ超えの歩行となりました。

お疲れ様でした。

来月例会は、松戸の桜です！ 満開の桜を期待しましょう。（報告 伊香賀）



ユーカリのマンションが見える！！



千葉ポートタワー前にて